

授業科目 NO. 614 地域アセスメント論

Community Assessment

授 業 の 形 態 : 講義

単位数 (時間数): 1 単位 (15 時間)

開講年次・学期: 4 年次・前後期

必修・選択の別: 選択

キ ー ワ ー ド : 地域アセスメント、地域生活者の健康課題、地域包括ケアシステム、多職種連携

1 金沢医科大学看護学部への到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学 習 目 標

1) 一般目標 (GIO)

看護専門職者には、健康課題を有する人々を地域生活者と捉え、地域の文化、環境、社会資源を把握し、適切に支援する能力が求められることを理解する。そのために、地域のケア力を評価する地域アセスメント能力を修得する。3 年次の看護学実習体験や医療・看護を取り巻く状況の変化から、関心のある特定の地域生活者の健康課題について、既存資料の分析により地域ケアに関する地域アセスメントを行う。また、地域ケアにおける 4 つの「助 (自助・互助・共助・公助)」を意識し、住民自身が地域ケア力の獲得に向けてどうあるべきかを考える。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部への到達目標との関連を示す。

- (1) 看護の対象が生活する地域の文化、環境、社会資源を把握することの意義を述べることができる。 (①)
- (2) 特定の健康課題を有する地域生活者のニーズ・課題を既存資料やフィールドワークから把握することができる。 (③)
- (3) 特定の健康課題を有する地域生活者の支援における看護専門職者および医療・保健・福祉領域の他職種の機能と役割と連携について考察することができる。 (③)
- (4) 特定の健康課題を有する地域生活者に対する地域のケア力の育成を 4 つの助の視点から考えることができる。 (③)

3 学 習 内 容

授業の内容については、授業計画に示す。

※保健師教育課程の科目と重複する可能性があるため、保健師教育課程履修者以外が望ましい。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	%
実習成績	%
レポート	30%
授業態度	50%
小テスト	%
その他(ディスカッションなど)	20%
合計	100%

(特記事項)

授業態度は、フィールドワークへの準備、参加状況、対象者とのかかわりの積極性、対象者への支援的態度、関係者との連携・調整力などから評価を行う。

5 教育担当者

科目責任者：前田 修子

教 授 前田 修子（在宅看護学）

6 教育担当者の実務経験

科目責任者（前田修子）は、医療機関看護師・市町村保健師として、地域アセスメントをもとにした事業計画立案・実施・評価に関わってきた実務経験を有する。

7 教科書

なし

8 推薦参考書

随時紹介していく

9 準備学修に必要な時間又は具体的な学修内容

- 1) 授業 1 コマにつき、事前学習・事後学習として計 180 分程度必要です。
- 2) 3 年次の療養生活支援看護実習及び他の実習での学びを振り返っておいてください。

- 3) 地域包括ケアシステム及び社会保障制度論の復習をしておいてください。
- 4) 選択科目であり履修者数が少ないことから、ゼミ形式で進めます。
- 5) 課題発表や積極的なディスカッションには、説明準備、ディスカッションのための準備学修が必要です。
- 6) 学生個々の興味関心を中心にゼミを進めますので、自らが地域における健康問題、社会資源について興味関心をもてるように、ニュースや報道の中での医療や看護の取り上げ方について確認しておくこと、自分の意見をもつことが準備学修になります。新聞記事、ネットニュース、ニュース番組、討論番組などを視聴・閲覧し、今起こっていること、多様な分野の専門職からの見解を理解しておくことが授業の理解を深めることに役立ちます。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

提出された課題については、講義の中で取り上げ解説を行います。

11 履修上の注意事項

履修人数に応じて、フィールドワークの内容・場所などを調整します。よって、授業内容や開講日時は変更になる可能性があります。

12 オフィスアワー等

学内にいる場合は対応しますので、事前にメールください。（mshuko@kanazawa-med.ac.jp）
p) 研究室は、1号棟4階404号室です。

第4学年

地域アセスメント論

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	11月04日（水）	2	講義	ガイダンス 地域生活者の地域アセスメント内容及び地域アセスメントの意義		在宅看護学	前田教授
後	2	11月10日（火）	2	講義	フィールドワーク準備	レポート ディスカッション	在宅看護学	前田教授
後	3	11月11日（水）	2	講義	地域生活者の健康課題と地域のケア力 イベント参加 フィールドワーク		在宅看護学	前田教授
後	4	11月17日（火）	2	講義	地域生活者の健康課題と地域のケア力 イベント参加 フィールドワーク	レポート	在宅看護学	前田教授
後	5	11月18日（水）	2	講義	地域生活者の健康課題と地域のケア力 住民の地域ケア力育成 フィールドワーク		在宅看護学	前田教授
後	6	11月24日（火）	2	講義	地域生活者の健康課題と地域のケア力 住民の地域ケア力育成 フィールドワーク	レポート	在宅看護学	前田教授
後	7	11月25日（水）	1	講義	地域生活者の健康課題と地域のケア力 子どもへの支援 フィールドワーク	レポート	在宅看護学	前田教授
後	8(0.5)	11月25日（水）	2	講義	まとめ		在宅看護学	前田教授